

あ・い・う・え・お

日本語の母音を発生させる装置です。

あ・い・う・え・お を発音するときの、それぞれの口腔の形（口の形と舌の位置）をシミュレートしています。

〔構造〕

- ・声帯の働きは、ブザーで行います。
- ・右側が、声帯～喉。 左側が、口です。
- ・口腔の形は、棒をスライドさせて作ります。
- ・「あいうえお」を出すために、テンプレートをそれぞれ用意しています。
- ・任意の位置にスライドすると、別の音が出ます。

How to play

- ① ピンをつまんで、棒をすべて赤線位置に戻します。
- ② 作りたい音のテンプレートを使って、棒を下方向に一斉にずらします。
- ③ スイッチをONにして、声帯からの音を送ります。
- ④ スイッチをOFFにします。
- ⑤ ①～④を繰り返します。

2015.7 川根佑介

<http://www.kawaney.com>

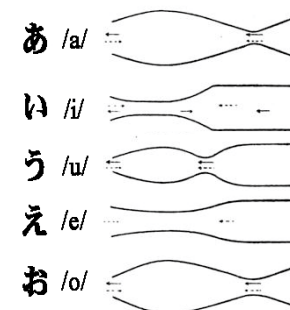
声道モデルについて

声音モデルは、音声学、音響学、音声言語医学等の分野において、音声に関する理解を深めるのに使われています。特に、声道の形状が母音の音質に関係していることがよくわかり、様々な理論の理解を助けます。

今回は、このモデルを極端に単純な形で実現しました。従って、あまり正確な音にはなっていませんが、感覚をお楽しみください。



い え あ お う
専門的なモデル



	厚さ 10(mm)										直径 (mm)					
口側														喉側		
/a/	32	28	30	34	38	38	34	30	26	20	14	12	16	26	12	12
/i/	24	14	12	10	10	10	16	24	32	32	32	32	32	32	12	12
/u/	16	14	20	22	24	26	22	14	18	26	30	30	30	30	12	12
/e/	24	22	22	20	18	16	16	18	24	28	30	30	30	30	12	12
/o/	14	22	26	32	38	38	34	28	22	16	14	16	22	30	12	12